

令和3年度第5回 山県市教育委員会定例会議事録

1 日時

令和3年9月28日(火) 午後3時00分～午後4時05分

2 場所

山県市役所3階会議室302

3 出席者

教育長 服部 和也

委員 千葉 純 委員 川田 八重子

委員 大野 良輔

事務局 学校教育課長 日置 智夫

生涯学習課長 藤根 勝

学校教育課課長補佐 渡瀬 和則

4 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 議事

報第13号 事務局職員の任免の専決処分の報告について

報第14号 山県市大桑城跡調査検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の専決処分の報告について

議第10号 山県市立学校管理規則の一部を改正する規則について

議第11号 山県市教育委員会後援等に関する要綱の一部を改正する要綱について

議第12号 山県市教育長名の賞状交付に関する要綱の一部を改正する要綱について

議第13号 事務局職員の任免について

日程第4 諸般の報告

日程第5 その他

5 会議の概要

別添のとおり

午後3時00分 開会

日程第1 前回の議事録の承認	
教育長	<議事録について説明を求める。>
学校教育課課長補佐	<議事録について説明する。>
教育長	<議事録について各委員の意見を求める。>
教育長	<委員からの意見がないため、議事録について承認を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、議事録について原案のとおり議決する。>
日程第2 議事録署名者の指名	
教育長	<議事録署名者に川田委員を指名。>
日程第3 議事	
報第14号 山県市大桑城跡調査検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の専決処分 の報告について	
教育長	<報第14号について説明を求める。>
学校教育課課長補佐	<報第14号について説明する。>
生涯学習課長	大桑城跡の調査の質を高めるため、土岐氏関連の古文書等の資料も専門の委員を置いて分析したほうがいだろうと、検討委員会から指摘があったため、専門部会を設置するものです。大学教授1人と学芸員1人、10月中に委嘱する予定です。
教育長	<報第14号について各委員の意見を求める。>
教育長	<委員からの意見がないため、報第14号について承認を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、承認する。>
議第10号 山県市立学校管理規則の一部を改正する規則について 議第11号 山県市教育委員会後援等に関する要綱の一部を改正する要綱について 議第12号 山県市教育長名の賞状交付に関する要綱の一部を改正する要綱について	
教育長	<議第10号から議第12号までについて説明を求める。>
学校教育課課長補佐	<議第10号から議第12号までについて説明する。>
教育長	<議第10号から議第12号までについて各委員の意見を求める。>
大野委員	支援室は、新たに設置するということですか。

学校教育課長	共同で学校事務を実施する支援室は以前から中学校区ごとに設置していますが、管理規則に明文化されていなかったため、今回、明文化するものです。
教育長	<ほかに委員からの意見がないため、議第10号から議第12号までについて承認を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、議第10号から議第12号までについて原案のとおり議決する。>
報第13号	事務局職員の任免の専決処分の報告について
議第13号	事務局職員の任免について
<非公開案件であるため、議事録は別途作成>	
日程第4 諸般の報告	
学校教育課長	修学旅行ですが、伊自良北小学校が10月14日と15日、奈良県へ行きます。美山中学校が9月8日から10日まで三重県の予定を変更し、10月14日に日帰り東濃方面へ行きます。運動会や体育祭は、コロナ対策をした形式で行うよう聞いています。
大野委員	美山小学校は、10月9日に運動会を、1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれで行い、午前中で終わります。修学旅行は、10月29日に岐阜関ヶ原古戦場記念館と養老天命反転地、30日に郡上へ日帰りということを知りました。
生涯学習課長	昨年度延期しました令和2年度の成人式を11月21日、令和3年度の成人式を令和4年1月9日に開催する予定です。両日とも、午前高富中学校卒業生、午後伊自良・美山中学校卒業生を対象に、分散して開催します。事前に抗原検査キットを出席者に送付し、あらかじめ検査してもらいます。また、来賓は恩師の先生のみとします。
学校教育課長補佐	まず、11月5日の岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会は、コロナの影響で予定を変更し、午前中のみのオンラインミーティングでの開催となりました。会場は花咲きホールの予定でしたが、市役所の会議室で講演を視聴していただくということになります。 次に、配付した資料のとおり、「学校の規模に関するアンケート調査」を実施する準備が整いました。対象は、児童生徒、保育園児、市内外の幼稚園児の保護者、学校運営協議会委員、約2,000人です。実際のアンケート用紙は資料の2枚目で、6つの簡単な質問をします。参考資料として、児童生徒数の推移の一覧表を添付します。

大野委員	保護者でも、父親が回答するか母親が回答するかによって、傾向が変わるのではないのでしょうか。
学校教育課課長補佐	他市のアンケートをいくつか参考にしましたが、回答者の属性を答えるようなものはなかったので、そういう観点はありません。
川田委員	参考資料ですが、いつも配布していただいている学年ごとの児童生徒数が掲載されている資料の方がわかりやすいのではないのでしょうか。保護者は、全校の人数よりも学年の人数を気にするのではないのでしょうか。
学校教育課課長補佐	その資料を基に全校児童生徒数だけを掲載し、複式学級のある学校は網掛けにしてわかるようにしてあります。統廃合に向けて何らかの動きをするときは、もっと踏み込んだ内容のアンケートも必要になるかと思いますが、今回は「統廃合」という文言も入れていませんし、これぐらいでいいと考えています。
千葉委員	保育園の保護者が、自分の子どもが入学する学年の人数を知るにはあった方がわかりやすいですが、そこまで把握する必要があるのかとも思いますので、これぐらいの情報でいいと思います。学年の児童数がわかると個人的な理由によりがちになるけれど、これぐらいのほう客観的に見られるのかなと思います。
教育長	アンケートがこれで終了というわけではありません。今の段階は、具体的な統廃合まで踏み込まずに全体の傾向をつかんで学校適正規模等検討委員会を開き、山県市の方向性を決定していくこととなります。アンケート第1弾はこれでお願ひしたいと思います。
千葉委員	質問3ですが、2学級も3学級も変わらないと思うので、「①1学級」「②2～3学級」「③4学級以上」としてはどうですか。
学校教育課課長補佐	「2学級」と「3学級」の差は選びにくいかなと思っていましたので、そのように変更します。

午後4時05分 閉会